

Rotary

国際
R
I

ジェニファー・ジョーンズ会長

2022-2023年度
会長 西村 敏信
幹事 茶谷 勝

出席報告

本日出席	13人
欠席	8人
出席率	61.90%
第3341回のメイクアップ	1人
第3341回の出席率	52.38%→57.14%

会長あいさつ

西村敏信会長



通勤電車内で読んでいた「楽
天で学んだ『絶対目標達成』7
つの鉄則」という本から一言紹
介する。恐竜にも通じることだ
が、「生き残るのは強いものでは
ない。唯一生き残るのは変化で
きるものだ」と記してある。私
も社員に常々自己変革を説いて
いる。ただ、一番

変わらねばならないのは自分だ
と思っている。徳川家康の記した
「大将の戒め」にもなるほどとい
う言葉がある。「(中略)良い家
来を持つとうとう思うなら、わ
が食を減らしても家来にひもじ
い思いさせてはならぬ」「自分
ひとりでは何もできない。家来
を惚れさせねばならぬ」とある
。さて、私の社員は私に惚れて
いるでしょうか。ロータリーの
皆さんにも惚れられるよう、自
分を磨きたいと思う。

Happy Birthday



稲盛仙三君(9日)

私の誕生日は39
(Thank you)と覚えて
ください。感謝の
一生にしたい。私の
ところは火事を2回
出したが、多くの方
から援助をいただ
いた。

本当に感謝しかない。トルコ地震の復興は大変だ
が、ロータリーで支援しましょう。今日持参した恒
例の大鍋に義援金をお願いしたい。



吉森君から皆さんへ

吉森勝代君からひな祭りに五
平餅いただきました。

卓話「私の話」 稲盛仙三君



卓話は稲盛仙三君が「私
の話」の題で担当した。米
山記念奨学生、スッパ・ソ
ニさんのカウンセラーを引き
受けたこと、地元の石垣新
神社の宮総代として祢宜の
結婚報告会に招かれたこと
、「水の学び舎ツアー」に
参加し、歩くスキーを楽し
んだ体験を話した。

米山カウンセラーとして、何をすればよいかあれ
これ悩んだ。まずソニさんに魚津とはどんな所か
知ってもらうため、天神山ガーデン、魚津の街、
富山湾、埋没林博物館を案内した。富山湾から
望む立山連峰、能登半島、生地の灯台などの景
色を堪能してもらった。このほか片貝川の蛇石や
洞杉、松倉城などもお連れしたい。カウンセラー
活動を通じて留学生と交流を深められたのは、こ
の上ない経験だった。

祢宜の結婚報告会は一般の結婚式とは異なり、
心も体も引き締まる思いだった。お嫁さんの衣
装にはびっくりした。富山には十二単がないので
京都から取り寄せたそうだ。十二単のきらびやか
さはまるで、時代劇を見ているようだった。

「水の学び舎ツアー」に、先月12日参加した。
青空の下、歩くスキーで雪道を滑りながら、片貝
川上流の冬の自然に親しんだ。クロスカンリース
キー選手の佐伯克美さんら4人の市民ガイドの案
内で、片貝第二発電所から高木橋まで雪に覆わ
れた往復4^{km}のコースを進んだ。87歳の佐伯さん
にスキーのスピードで誰も追いつけません。魚津
にこんな立派な方がいることと、こんな近くで大
自然を満喫できることに感動した。

ニコボックス報告

稲盛仙三君 今日私の誕生日です。よろしくお願
いします

吉森勝代君 新聞に息子たちの記事を書かせていた
だきました。今日はおひなさま、晴天良き日です。ありが
とうございました

青山圭一君 第3回英語スピコンの講演者、石崎愛
菜さんが星の杜小で英語経験について講演されたそう
です。地域の英語教育に役立ち、うれしく思います

西村敏信君 本日はおひなさまです。吉森さんから
愛を頂き本当にありがとうございます

出席報告

本日出席	14人
欠席	7人
出席率	66.66%
第3342回のメイクアップ	1人
第3342回の出席率	61.90%→66.66%

会長あいさつ

西村敏信会長



私もいよいよ数えて70歳。「終活」をはじめなければならない。令和元年の健康寿命で男性72.68歳、女性75.38歳となっている。72.68歳といえは私もうすぐだ。健康寿命を維持するための7つの項目があるので、皆さんに紹介する。

喫煙、過度な飲食、飲酒は控える▽食事は年齢に応じた量をバランスよく▽活発な身体活動を行う▽睡眠時間をしっかり確保する▽孤独にならず社会的関係を保つ▽定期的に健康診断を受ける。一日一日大切に過ごさなければならない。私が健康なのは主治医の青山君のお蔭だ。

Happy Birthday



茶谷勝君(16日)

私の誕生日は昔から確定申告で忙しい頃だった。結婚してからも、弟の義理のお母さんの葬式の日、妻のお父さんの葬式の日だった。私もいよいよ48歳になった。

巷では「〇〇48(フォーティーエイト)」ともてはやされているように、今年は1年間「茶谷勝48」で頑張っていきたいので、よろしくお祈りします。

WHITE DAY

吉森さんに感謝

14日のホワイトデーを前に、日頃からさまざまなお気遣いをしていただいている吉森勝代さんに感謝を込めて、会員一同からお酒とクッキーを贈りました。



卓話「建築」 平崎暉夫君



卓話は平崎暉夫君が「建築」の題で担当し、30年に及ぶ大手ゼネコン勤務時代を振り返った。自身が手掛けた建築物について触れ、「地図に残る仕事ができるのが誇り」と語り、当時を懐かしんだ。

私が従事していた頃の建設業界は今で言う3K(危険、汚い、きつい)、いや5Kで仕事が厳しく、家に帰れない日々もあった。友人と遊びに行く約束をしても、ほとんど果たせなかった。

入社時の人員は技術系500人、事務系300人。現役を引退する頃、技術系で残っていたのは300人。残りは他の会社に移ったり、引退したりした。今、業界全体が変わってきている。上の息子も同じ道を歩んでいるが、3分の1は女性が進出しているという。

始めに富士の自衛隊の演習場で研修があり、集団生活をみっちり叩き込まれた。その後、3カ月間、研修寮での研修を経て、夏に横浜支社に配属された。富士山の麓にある富士宮市にある製紙会社で測量機器の取り扱いを徹底的に学んだ。毎日、レベルの精度について教育された。

1964年に東海道新幹線が開通した時、小田原駅のプラットフォームの屋根の工事に配属された。列車の運行の関係で、深夜0時から朝6時までしか仕事ができない。やることがないから、小田原駅前ですー一杯飲んでしまったものだ。筑波研究学園都市では、マンションだけで8年ぐらいかけて58棟手掛けたのも思い出深い。



ニコボックス報告

茶谷勝君 誕生祝い

川本吉伸君 昨夜、長女が帰省し、家の中が明るくなりました。妻と次女と女3人がしゃべりまくって、WBCの音声も聞こえず。しばらくにぎやかでうるさい日が続きます

平崎暉夫君 卓話の機会をつくっていただき、ありがとうございます